

教育学部では1回生から少人数ゼミ

教育学部では、1回生から少人数ゼミがあり、学生と先生の間が近く、専攻生の仲がよいのが学風です。

幼児教育専攻の1回生は、どのゼミも初年次教育として、こども園見学・ネイティブの先生による英語保育体験・4300冊を誇る絵本を持つ図書館ツアーなどを経験します。

それ以外の時間は、ゼミ担当の先生の専門性に合わせた内容を学んでいきます。ここでは、自然教育コース担当教員の井上美智子ゼミの授業紹介をします。



井上美
ゼミ



オンライン授業が続く中、少人数の屋外活動は可として、5月19日、雨の中、サツマイモの苗を植えました。保育現場ではサツマイモ栽培は園庭の畑や園の近くの畑を借りるなどして、よく実践されています。そのため、毎年、井上みゼミではサツマイモの栽培に取り組んでいます。現場に出たとき、「やったことあります！」って言えますよね。

ようやく対面授業再開後の7月14日、図書館のグループ学習室に集合し、サツマイモをテーマに本を探す体験をしました。図鑑などを探すチーム、絵本を探すチーム、保育の専門書にサツマイモの記載を探すチームの3つに分かれて探したあと、それぞれのチームで探した本にどんな情報が載っているかを共有しました。サツマイモの原産地、何の仲間か、育て方、歌と楽譜、指導案、活動例など。絵本を探したチームには読み聞かせを試してもらいました。

秋には収穫。感染症が収束していたら毎年恒例の「イモ料理の会」を予定していますが、今年はどうなるでしょう。

